

令和 7 (2025) 年度栃木県心のサポーター養成事業業務委託
公募型プロポーザル 実施内容等に係る質問及び回答

令和 7 (2025) 年 5 月 29 日
栃木県保健福祉部障害福祉課

No.	質問内容	回答
1	審査基準中に「過去に教育関係機関と連携した業務実績があるか」とありますが、この教育関係機関とは、今回の事業の趣旨から考えると「大学」「高校」という理解でよろしいでしょうか。業務実績の提出の際には「令和 6 年度 ○○大学 ○○講座」という表記でよろしいでしょうか。	過去に教育関係機関と連携した業務実績は、高等学校や大学に限らず、中学校や専修学校等の学校教育法に規定のある教育機関との連携実績を含みます。企画提案書における表記の方法については、お見込みのとおりで構いません。
2	講師の選定ですが、栃木県に講師（候補者）リストがあり、受託者がそのリストに掲載されている方に連絡して日程時間の調整を行うという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 なお、仕様書中「5 事業概要 (3) 実施の流れ」に記載の「講師の調整」には、日程時間のほか、研修方法に応じた調整を含みます。例えば、オンライン開催の場合、講師のオンライン環境の確認、調整も受託者が行います。
3	仮に受託した場合、研修の準備のために講義資料を栃木県から速やかにいただくことは可能でしょうか。	可能です。